

| | | |
|-------|-------|----------------|
| 人口(男) | 1,722 | (+2) |
| (女) | 1,840 | (+1) |
| 計 | 3,562 | (+3) |
| 世帯数 | 1,371 | (+3) |
| | | (10月末現在) (先月比) |



みんなで楽しく遊んだふれあい広場!!

11月のふれあい広場は、子どもたちが自発的にやりたい遊びを話し合い、体を動かす遊びや静かに落ち着て取り組む遊び等を各々で楽しみました。今回初めての試みで「ポッチャ」も取り入れて、子どもたちに挑戦してもらいました。はじめは投球が強すぎて、なかなかターゲットマット内に止まらず転がりすぎていましたが、徐々に投球の力加減を調節してボールを的の中に入れると歓声をあげて喜んでいました。また、毛糸を使い、あやとりや指人形を編んだりする子もいて、完成後はスタッフと一緒に指人形劇をして楽しんでいました。

12月の「吉江ふれあい広場」は12月9日(土)に福祉部会・地域福祉担当主催の『吉江ふれあい地域食堂』に参加します。餅つき体験や豚汁も振る舞われますので、是非家族みなでお越しください!!



子どもの遊びを見ながら「おしゃべりCafé」で休憩する地域の方々



ポッチャ(ターゲットマット)に初挑戦!



編み物をするスタッフと児童

告知!!

餅つきで今年を締めくくろう!! ~吉江ふれあい地域食堂~

今年度2回目となる「吉江ふれあい地域食堂」は、12月9日(土)に吉江交流センターで開催します! メインは「お餅つき」です。近年では、餅つきをされるご家庭も少なく、餅つきをしたことがない子どもたちが増えています。地域づくり協議会では、そのような昔ながらの風習を大切に、子どもたちに体験できる場をつくり、その機会をきっかけに地域の高齢者や親世代、子どもたちがふれあい、顔見知りになることで、大人から子どもまで安心して暮らせる地域づくりを目指しています。また、当日は餅つきの他にも、吉江地区のヘルスボランティアの方々にご協力をいただき、豚汁も振る舞う予定です。

餅つき体験をしたり、つきたてのお餅やアツアツの豚汁を食べに吉江交流センターまで来ませんか?? ご家族揃ってのご参加をお待ちしております!!

(当日は整理券を発行します。お餅と豚汁は整理券と引き換えとなります。なお、数に限りがありますので、整理券がなくなり次第終了と致しますので、ご了承ください。)

- ☆ 開催日時 : 令和5年12月9日(土) 午前10時 ~ 12時頃まで
- ☆ 開催場所 : 吉江交流センター
- ☆ 内 容 : 餅つき大会(あんこ餅・きなこ餅・ごま餅)・豚汁

(※ 同時開催される「吉江ふれあい広場」は、通常とおり午前8時30分から開催しております。)



あなたのアイデアで駅周辺を飾ってみませんか?? ~冬のイルミネーション装飾ボランティア募集!!~

吉江地区の冬の風物詩『福光駅前ライトアップ』イルミネーションの取付け時季になってきました。吉江地域づくり協議会では、イルミネーション装飾のボランティアを募集します。吉江地区の皆さんのアイデアとお力を貸していただけませんか？

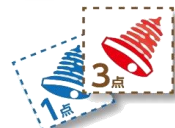
申し込みは、吉江交流センター ☎ 52-4680 までご連絡ください！
尚、イルミネーションの取付け作業日は12月16日（土）を予定しています。



あなたのアイデアで福光駅周辺を明るく飾りましょう！！
是非ご連絡お待ちしております！！



ベルマークありませんか!?



地域づくり協議会(吉江交流センター)では、福光東部小学校が取り組んでいるベルマーク運動に協力しています。集められたベルマークは、学校に必要な教育備品やへき地学校などへの教育援助活動に役立てられています。各自治会・町内会で集めたベルマークや個人で集められている方で、どこへ持っていけばいいかわからないという方は、吉江交流センターまでお持ちください！台紙に貼らず、切り取ったままでも構いません！

吉江地区の獅子舞 (田中地区編) vol.4

明治12年に土生新の人より嫁兼の獅子として伝授されました。
社務所には、当時の獅子頭が保管されています。幕末の頃より福光地方において盛んに導入されてきたとされる獅子舞を早期に取り入れ、無病息災や村の活気づけに活かしています。一時期中断されていましたが、先祖の想いを若者達が受け継いで昭和49年に復活させ、以後は災害などの発生年を除き継続して奉納されています。昭和57年までは春祭り（4月15日）に巡行していましたが、天候が安定する秋祭りの方が良いとの住民意見に従い、昭和61年より秋祭り（11月3日）巡行、奉納に変更し現在に至っています。

中核として活動する田中青年団員や、踊り子となる男児の減少といった問題を抱えながら、近年は青年団OBの協力を仰いで、毎年奉納されています。その功績に敬意を示すとともに、今後も貴重な無形文化遺産を子から孫へと伝えてゆきたいものです。

| | |
|---------|--------------------------------------|
| 奉納 | 秋季祭礼 |
| 祭礼場所 | 田中八幡宮 |
| 獅子舞の形態 | 百足獅子 |
| 獅子頭の種類 | 不明 |
| 獅子頭の製作 | 二代目 得能斧山（田中） [初代・明治11年製作、黒塗、彫師不明] |
| 獅子取の種類 | 踊り獅子（またはシドリ） |
| 採り物の種類 | 太刀、鎌、棒（両端に色紙を薬玉状につけている） |
| 楽器（花屋台） | 笛、太鼓 |
| 演目名 | ①京振②七、五、三③サッサイ④キリマゼ |
| 踊り子 | 男子（小1～小6） |
| 保存団体 | 田中青年団、田中クラブ |

2023年11月3日に行われた秋季祭礼



【御礼】取材にご協力いただいた田中自治会及び田中青年団・田中クラブの方々、
ありがとうございました。

記：企画総務部会広報委員 谷井珠恵



